

# 令和4年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

(株)ケア・フレンズ  
くつろぎの家・よかったね

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) ケア・フレンズ	代表者	脇屋 智樹	法人・事業所の特徴	足羽川の桜並木の中にある事業所として、地域に溶け込みながら介護事業所としての役割を果たしたいと思っています。ご利用者様の想いを大切にし、自己実現を目指して日々の生活支援をさせていただきます。今後も地域交流を継続と、自己研鑽を行いながらご利用者様にとってよりよい介護実践を行ってまいります。
事業所名	くつろぎの家・よかったね	管理者	松塚 泰孝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	6人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	内部研修と面談は継続する。「できなかった点」を振り返り一つでもできるようにする。	各委員会における内部研修において、自己チェックシートやポスターの掲示を行い介護スキルアップを目指した。次年度以降、工夫を重ねたい。	オンラインでの研修は受け身になっていないか？研修後の振り返りがあるとより良いのではないかな。	■研修は目的を持って参加し、仕事でどう活かすかを考え、「よりよい在宅支援」に向け実践につなげていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者さんの快適さと安全な環境について考え整えていく。介護しやすい環境を整え、無駄な時間をかけない。	ベッドの向きや備品の置き場所など、利用者さんへの快適さと介護のしやすさを考慮した。また、介護スペースを確保し双方への負担を軽減した。	コロナで事業所内をみる事が出来ない為、事業所の中の写真が掲載されたパンフレットがあると良いのではないかな？職員間で環境に対して話し合えるのは良いと思う。	■職員間で話し合いながら、楽しく元気の出る事業所のしつらえを作っていく。 ■事業所環境や活動写真を冊子にして見学時などに分かりやすく紹介できるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	回覧板を活用し地域の情勢を把握する。分からないことがあれば近隣の方々にお聞きする。	回覧板にて地域の情報を把握した。また、近隣住民とはあいさつ程度だが、地域の医院や床屋とつながりあり。地域住民の介護補助として就労。	コロナにより難しいとは思いますが、ボランティアの受け入れなども検討してはどうか。地域の掃除や行事へ参加し事業所を知ってもらいきっかけを作っても良いのではないかな。事業所のパンフレットを作成し、回覧板に入れてもらい事業所を知ってもらおう。	■民生委員さんや介護相談員、ボランティア等の受け入れを再開していく。 ■事業所のパンフレットを作成し回覧板に入れてもらうなど、地域への事業所紹介を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍ではあるが、地域に向く機会をつくる。移動スーパーも活用する。	マンション入居者は個別の散歩やドライブ程度。地域にお住いの利用者は買い物や美容室など馴染みの店への外出を見守り、時には同行した。	今も出来る範囲で行えているように思う。情勢を見ながら出来る範囲で継続してほしい。	■地域の商店への買い物や散歩、イベントなどへの参加をしながら関わりを深めていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>対面での運営推進会議において、利用者や利用者家族などの参加を目指す。</p>	<p>利用者、利用者家族の参加難しかった。参加対象とする方が少ないが、来年度は利用者の負担も考慮しながら参加を依頼する方向で考えていきたい。</p>	<p>地域性もあり、いろいろな方の参加は難しいのではないかと参加者が増えれば今の開催場所は狭いように思う。公民館を借りたりすることで、地域とのつながりが出来るのではないかと自治会長など地域の方に参加してもらえると、参加者同士でつながりが出来るのでありがたい。</p>	<p>■参加者の拡大と開催場所の検討を行っていく。 ■ご意見を頂いた改善計画の進捗状況を定期的に公表していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>災害時の事業所・民生委員・包括との連携について、検討する機会を得る。</p>	<p>今年度は、包括や民生委員の参加を検討していたが、コロナ禍で叶わなかった。次年度以降の課題とする。</p>	<p>避難先、避難方法など記載した物を日ごろから目につく場所に置いておくことで緊急時にすぐに対応することができるのではないかと。災害時に協力を得るために日ごろから地域住民との関わりを持つと良いのではないかと。備蓄の見直しを地域で行っているが、事業所では備蓄に関してどうしているのか？</p>	<p>■災害に備え避難先や避難方法を「見える化」しておく。 ■日頃から地域住民との関わりを持ち災害時に協力を得られるように備える。 ■災害に備えた備蓄を整備する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	1人	0人	5人

前回の改善計画	利用者の「想い」や「意向」を尊重したケアを考え実行していく。 (家族からの情報もふまえてアセスメントする)
前回の改善計画に対する取組み結果	新規受け入れに関して、ケアマネジャーと連携しながら利用者の「想い」や「意向」を確認している。 今後は、初期支援後にもサービスに関してのフィードバックができるとよい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	1	4	0	5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	4	1	0	5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	4	1	0	5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	2	3	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーと連携し在宅での生活状況や家族関係などを把握している。</li> <li>・サービス時以外の時間の過ごし方を把握している。</li> <li>・慣れない時期は「訪問サービス」を中心に信頼関係を築けるよう意識している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に必要な情報(生活歴、習慣、こだわり等)が、まだまだ不十分</li> <li>・新規受け入れ後のフィードバックのミーティングができるとよい。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアマネジャーとの連携を強化し、スムーズで安心したサービス提供ができるようにする。 (情報収集やケア内容の振り返り、困りごとの解決など)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	2人	1人	5人

前回の改善計画  
すべての利用者との信頼関係を作り、「～したい」の実現を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
簡単なレクリエーションや役割としての活動にとどまっている。  
外出活動をはじめ地域との関わりが持てる活動を増やしていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	3	2	0	5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	2	2	0	5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	1	0	5
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	2	1	2	5

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・日常生活(食事、入浴)に関して、本人の望む生活に向けた支援は可能

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・意思疎通が難しくなった利用者には、家族から情報収集したりチームで考えていきたい。  
・「～したい」について、利用者の話を傾聴し実現していくことを積極的に行っていきたい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
「～したい」の想いを、ケアプランの目標と連動させ、ケアマネジャーとケアスタッフが一体となって利用者支援を行っていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	1人	0人	5人

前回の改善計画	利用者の状態変化に気づき、医療との連携を密に行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報連携ツール(チャットワーク)を導入し、医療機関やケアマネジャーとの連携を強化できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	2	1	5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	4	0	0	5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	1	3	1	5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	5	0	0	5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	1	4	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関やケアマネジャーとの情報共有と早期対応。</li> <li>・変化する日常生活に対しての介護方法や福祉用具の見直し。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活課題に関して家族等と共有し早期解決していきたい。</li> <li>・現状の生活を更により良くするための話し合いや、解決に向けた実践をしていきたい</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者ごとの連絡体制や将来的な意向(ACPなど)を整理し、緊急時には適切かつ敏速に対応できるようにしたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	4人	4人	5人

前回の改善計画	地域・自宅での生活状況を把握し、利用者家族・地域住民・関係者とのつながりを作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	生活状況の把握はできているが、地域とつなぐ取組み不十分。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	1	0	5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	2	1	1	5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	2	1	5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	2	1	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民や尋ね人(宗教関係など)との交流を継続している。</li> <li>・家族との定期的な関わりを(コロナ禍でも)継続している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者と地域をつなぐ、イベントへの参加など消極的。</li> <li>・利用者の関係者が減っていかないように、今のつながりを保持していきたい。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の生活歴(習慣、趣味、価値観、馴染みの人、馴染みの場所など)をより詳しく把握し、普段の介護に活かしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	2人	0人	5人

前回の改善計画	小規模多機能以外の社会資源と協力して、利用者の困りごとや課題を解決していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	移動スーパーや床屋、ドッグセラピーなど事業所以外の資源の活用を意識している。 今後は更に地域の社会資源を活用しながら利用者の地域生活を支援していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	1	0	5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	1	0	5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	1	3	1	5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	3	1	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーと連携し必要に応じたサービス対応をしている。</li> <li>・コロナ禍ではあるが、できる範囲で事業所以外の社会資源を利用している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに対し、多様な社会資源を活用していきたい。</li> <li>・適宜ミーティングを開催しスタッフでケア方法の変更などを統一していきたい。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
社会資源を活用する意識を持って、多様化する利用者のニーズを解決していきたい。 (連携の可能性のある社会資源を発掘していく)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

6. 連携・協働

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	0人	0人	5人

前回の改善計画	主治医や訪問看護、薬局との連携を行い、在宅医療と介護の連携を意識して支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者ごとの在宅医との連携は往診の同席や、体調変化時の早期発見対応にて行えている。訪問看護や薬局との連絡も密に行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	4	1	0	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	0	5	5
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	0	5	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	0	5	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療と介護現場との連携を意識を持って行っている。</li> <li>利用者の健康状態や体調変化時の対応は主治医を中心として訪問看護と連携している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍による影響で地域活動が乏しい状況。</li> <li>来年度は地域への活動に参加していけるよう検討している。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規契約やサービス担当者会議等において、介護スタッフの積極的な参加を行っていく。(本人・家族の意向、多職種連携の視点などを学んでいきたい)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

7. 運営

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	3人	2人	5人

前回の改善計画	小規模多機能の役割についてチームで考えていく。 (運営推進会議でのご意見も参考にする)
前回の改善計画に対する取組み結果	介護スタッフで小規模の役割を考えることはあったが、ケアマネジャーとの連携においては具体的な話し合いをしていきたいと考えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	2	3	0	5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	1	0	5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	0	2	3	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	4	1	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情に対して対応を検討し、速やかに支援方法などの変更につなげている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>クレームがない状態であっても、利用者や家族、運営推進会議等を通じて運営状態の振り返りや見直しを行っていききたいと考えている。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
小規模多機能のあり方について、事業所外からのご意見を頂きながら参考にしていきたい。 (利用者・家族からの意見、関係機関や運営推進会議等の活用)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	3人	0人	5人

前回の改善計画	委員会での研修内容を全スタッフが理解し実践していく。 (接遇や認知症ケア、事故防止など)
前回の改善計画に対する取組み結果	委員からの伝達研修やポスターの掲示、自己点検チェックを活用した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	2	2	1	5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	1	2	5
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	3	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	3	2	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動を通じて質の向上を目指している。 接遇、事故防止、感染症・食中毒予防、プライバシー保護、高齢者虐待防止、ハラスメント防止</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容が全スタッフに浸透することが、難しかったため、来年度以降はより実用的な委員会運営方法を検討している。</li> <li>外部研修に関してはスタッフの主体性を尊重しながら年1回以上の参加を目指したい。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
委員会活動を活用してスタッフ一人ひとりが専門的知識を深め、ケアを実践できるようにしていきたい。(事業所の課題を解決していけるような、委員会の取り組み内容を考えていく)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(14:00~16:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松塚、堀井、吉岡、竹内、玉井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	5人

前回の改善計画	高齢者虐待防止、プライバシー保護委員会の研修内容を理解し実践する。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待防止や身体拘束廃止に関しては意識を持って取り組めるが、プライバシー保護をはじめ利用者の尊厳の保持に関しては、介護スタッフの感覚麻痺もあり繰り返しの学びが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	0	4	1	0	5
②	虐待は行われていない	0	4	1	0	5
③	プライバシーが守られている	0	3	1	1	5
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	1	1	5
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	3	2	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・権利擁護と意思決定支援については、ケアマネジャーとの連携により意識している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・医療機関(在宅医など)との協働のなかで、権利擁護と意思決定支援についての捉え方にずれがあり、サービス担当者会議等を通じて整えていく必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
介護の倫理をチームで考え、倫理的課題の解決に挑戦していきたい。 (多職種連携としても介護の視点を発揮できるようにしていきたい)	